

令和5年6月の大雨を教訓に

防災を有田のみんなでかんがえる会議

有田市民会館 第1会議室

令和5年6月の大雨被害においては、本市でも局地的な被害が発生しましたが、有田市社会福祉協議会は災害ボランティアセンターを立ち上げるに至りませんでした。

一方で、普段から連携している「地域福祉ネットワーク会議」においては、数年来災害時の課題や助け合いについて協議を重ねており、令和5年の大雨についてもそれらの課題が露呈した形となりました。

そのため、本会では、令和6年度から重点事業として「防災プラットフォーム事業」（和歌山県共同募金会助成事業）を進めています。本事業は、「防災・災害」を切り口に多様な立場の方たちが対話し、それぞれが助け合いに向けて活動されるよう場づくりをおこなうものです。

地域の多様な方と普段から関係づくりを行いたいたく、防災プラットフォーム事業のキックオフとして、被災経験のある社協職員をお招きし、災害時の助け合いについて、市民が共に学ぶ機会をつくりました。

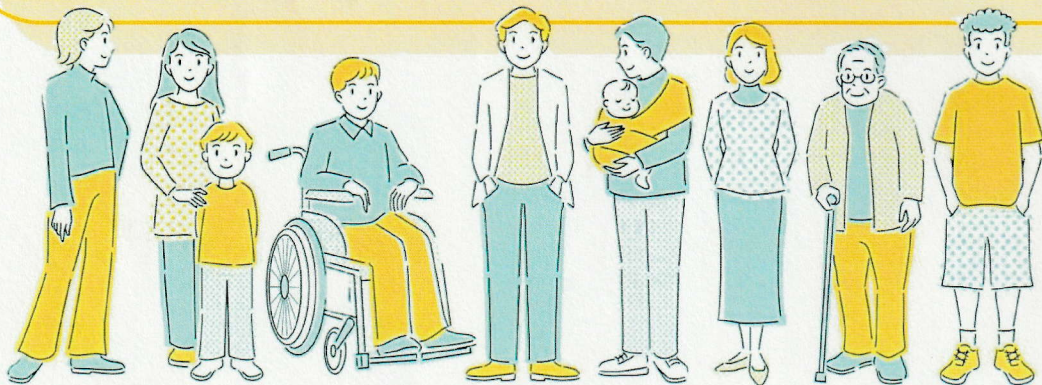
防災有田みかん会議

実践報告

- ①かつらぎ町社会福祉協議会 事務局長 山本 幸則氏
「令和5年6月被災における行政・専門ボランティアとの協働(仮)」
- ②富士市(静岡県)社会福祉協議会 上席主事 加藤 慎也氏
「2度の局所豪雨被災を経て、まちづくりへ(仮)」

パネルディスカッション

コーディネーター 和歌山県災害ボランティアセンター所長 南出 考氏
上記実践報告者2名



定員80人
参加無料・要申込



お電話でもお受けできます

主催:有田市社会福祉協議会【問】0737-88-2750

後援:有田市